

## 行動及び言動に関する指導ポリシー

Quality Area 5: Interaction with Children & Link to QA 2

**信条:** 安全で楽しい環境を提供し、一人ひとりの個性を受け入れ、多様性のプラス面を促進する

**規制制定:** Education and Care Services National Regulation, 155-156

### 子どもたちの権利

子どもたち:

- の話に耳を傾ける
- は彼等の権利のもとに接せられる
- は彼等の尊厳のもとに接せられる
- は彼等に直接影響のある問題の解決に参加する
- は公平に接せられる
- は地域社会の一市民と見なされる
- は安全であると感じる

### **合理性:**

子どもたちはこれから様々な問題に直面します。社会に受け入れられる行動及び言動を学び、異なる社会的・情緒的環境において、または友だちや大人との関わり方の中で、自分のふるまいを制御できるようになっていきます。子どもたちが自分の行動や、それが他者に及ぼす影響を理解し、その行動に責任が持てるように、善悪の区別を認識できるようになる指導が必要とされます。そして自分のふるまいに対する制限とその理由を理解しなくてはなりません。保育者は子供たちのふるまいに制限を設けることで、最終的に自制心を養えるように導いていきます。ふるまいに制限を設けることは、子どもたち、他者、環境の安全保護のために非常に重要であり、また、子どもたちにとってコントロールの難しい、気持ちの表し方にも役立つものとなります。

### **ポリシー:**

当園では、子どもたちは大人と同様の権利を持つと考えます;

保育者は、それぞれの子どもたちに存在する相違点と類似点に真価を認め、それを尊重します。

保育者は、現在登園されている子どもたちが正しい指導を受け、子ども自身もしくは他者への適切なふるまいについて補助されることを保証します。全ての子どもたちは、年齢や性別、人種、能力、文化的背景にかかわらず、常に尊重されます。

Nominated Supervisor は入園申込時に、各家庭へ'行動及び言動に関する指導ポリシー'と手続きについて通知します。

**スタッフ/実習生/ボランティア/園訪問者による体罰は、指導方策のもと、いかなる状況であれ是認されません。**

スタッフ/実習生/ボランティア/園訪問者による、子どもへの隔離、屈辱、脅迫、否定的分類をすることは、指導ポリシーのもと、いかなる状況であれ是認されません。

保育者は、職能開発、子どもたちのふるまいに対応するための理解や技能、保育の解釈について、常に最新の情報を認識するよう努力します。保育者は職員会議において、積極的に指導方法について意見を交わし、園全体の一貫性が保たれることを保証します。(心理学者 Maslow と Erikson の著書が事務局にございます。いつでもお読みいただけます。)

#### 保育:

子どもたちの素行に対する指導を行う際、心理社会的発達理論 Maslow's Hierarchy of needs と Erikson's stages of psychosocial development を取り入れます。

- ❖ **他の子どもたちや大人との積極的人間関係への取り組み**
- ❖ **外部要因(家族、家庭生活、学校、友だち)への取り組み方の考案**
- ❖ **子どもたちを指導するために;**
  - 子どものニーズを考察する
  - 思いやりのある行動を認め、それを称える
  - 子どもたちが守るべきガイドラインを作成する
  - 自然発生的なミスに注意を払う
  - コミュニケーションとガイダンスを通して問題の解決をする  
(ゆきクラスは、模範となる大人による適切なふるまい及びビジュアルキュー/視覚的合図を用いることで、何が適切で何が許されないことなのかを指導する)
  - 自制心を指導する
- ❖ **子どもたちの不適切なふるまいを制限するためのガイドライン(守るべきルール)の設定**  
保育者は、子どもたちに刺激的な学習環境を提供することを通して、遊びと学びに関わるルールを守るよう指導する。難しい素行には、個々の発達段階及び能力に配慮した指導を行う。
- ❖ **クラスのルールを作成する際は、クラス内でのふるまいについて子どもたちと話し合う**  
その際は;
  - 意見を分かち合い、順番に発言する
  - 友だちと話し合う
  - 友だちや先生と活発に意見交換をする
  - 様々な遊びや学習の中でお互いに助け合う
  - 他者への思いやりを示す
  - 子どもたちの感情に対応し、適切にふるまう

*ゆきクラスでは、上記スキルを指導するためにビジュアルキュー/視覚的合図が使われます。*

#### 不適當行動とその重要性:

保育者は、子どもたちのふるまいが下記の事項によって影響を受けるということを認識する;

- 年齢と発達状況 (参照: Maslow hierarchy of needs / Erikson's psychosocial stages of development)
- 体力、屋内外、天候、時季、時間といった要素を含む遊びと学びの環境
- 健康状態
- 家庭の事情、文化的背景

- ❖ 保育者が手本を示し、不適切な素行を咎めるのではなく、子どもたちの良いふるまいを認識し、それを褒める。
- ❖ 子どもたち個々のスキルと、ポジティブな自尊心と自制心の発達を促す体験学習をプランする。これらのアクティビティは、動きと休みをバランス良く取りながら、スムーズに行われなければならない。
- ❖ 子どもたちが自分たちの行動に自覚が持てるような、さまざまな体験プランを練る
- ❖ 言語によるコミュニケーションを通して子どもたちが感情表現を養えるような、さまざまな教材(教材はスタッフルームにございます)を活用する。
- ❖ 友だちとのポジティブな交流を促す
- ❖ 年齢層ごとの予想されるふるまいに対して、一貫性を保ち、明確かつ協調的であるようにする。
- ❖ 指示をする際、バイリンガルの子どもたちの限られた英語の理解力を考慮する。  
E.g. “Don’t run” “走らない”

子ども同士の衝突を解決する方法として、以下の事項を適用する:

食べ物と水を、指導ポリシーの材料として使うことは決してありません

1. 年齢によって方法を使い分ける。  
E.g. 年齢の小さな子どもたちは、次の行動に移る際に不安を軽減するような指示が必要である。
2. 問題事項について子どもたちと話し合う前には、子どもたちの注意を引くために視線を合わせて同じレベルで話をし、簡潔に対処し素早く行動する。後で話し合おうと思っても子どもは忘れてしまうことがあるので、問題を後回しにしない。
3. 子どもを通じて話をする。
4. 一貫した態度で、なぜそのふるまいが不適切であるかを説明する。
5. 子どもたちが、お互いに言葉を使い、落ち着いて問題を解決できるようサポートする。
6. 適切な言葉を使うようサポートする。
7. 交渉で問題が解決されるようサポートし、その問題や解決策、予想されることについて話し合う。
8. 保育者は、子どもたちのふるまいに対処するサポートが即座に必要な時、またはその方法が確かでない時、他保育者の協力を得る。
9. **子どもたちが破壊的な行動を示した場合:**
  - 他のことに目を向けさせる
  - 子どもを隔離しない
  - グループから離し静かな場所へ移動させる。もし続く場合は子どもに寄り添い、なぜグループやアクティビティから離されたのか、限度と適切な行動について説明する。
  - 模範を示す
  - 子どもをグループに戻す

- ❖ 小さな子どものためには、発育上適切で刺激的な体験を選択する。
- ❖ リソース不足による問題行動は、環境を変えたりさまざまな道具などを用いて最小限に抑える。
- ❖ ポジティブな行いには、きちんと言葉で褒める。
- ❖ 乱暴なふるまいやいじめ行動について、当事者となる子ども自身と、そして子どもたち全員とのグループセッションにおいて話し合う。友だちとの衝突を解決するための適切な言葉やスキルを示す。また、行動が懸念される子どもの親と話し合う。

#### 挑戦的行動:

- 噛む
- 乱暴な素行やいじめ行動

もし、子どもが他の子どもや保育者、訪問者に対して、叩く、噛み付く、押す、殴る、つばを吐く、乱暴な言葉を使う、蹴飛ばすなどの不適切なふるまいを見せた場合;

#### 保育者は下記の方法を実行する:

- 肯定的感情へと導く
- 日課やプログラムを変更し、問題の原因となりうる緊張とストレスを和らげる。
- 保護者に連絡し、その行いが改善されるよう一緒に取り組んでいくためのサポートを提供する。  
‘Modification Plan’
- 不適切なふるまいに対する詳しい観察、記録を通して、保護者と話し合う。(全ての書類はスタッフによって文書化され、個人フォルダーに保管されなければならない)

#### Strategies used in a modification plans, are including:

1. 子ども一人ひとりのモディフィケーションプランを遂行するにあたり、家族に伝える。
2. モディフィケーションプランは、家庭とセンターで遂行される。
3. きっぱりとした声で、フレンドリーな話し方を一貫して用いる。
4. 保育者は、クラスに関係なく互いに助け合う。
5. 不適切なふるまいと模範的なふるまいについて常時説明する。
6. クラス内で良い行いが見受けられた場合、「グッドボーイ/ガール」だけでなく、何が良いのかを詳しく説明して奨励する。
7. Naughty や Bad といった言葉にはマイナスの影響があるため使わない。
8. 外部から得られる最新情報とサポートのために、外部機関を利用する。
9. 上記の方法と考察、保護者との話し合いにおいても著しい効果が得られない場合は、家庭内においてプランが実施されていない、もしくは保護者が子どもの問題を解決するためのサポートを得ていないと見做される。その場合、全ての子どもたちの安全のため、当園では退園を通告する。

#### 退園通告について:

1. 保護者宛に、モディフィケーションプラン実行が遂行されていない特定の分野についての警告書が送られる。
2. ノミネートスーパーバイザーによる観察期間と報告者が提供される。
3. 観察期間中に改善が見受けられない場合は退園が通告される。

### ポリシーについての他リンク:

- Child protection
- Employment of new employees
- Enrolment of new children and families to the service
- Incidents & Illness
- Workplace Health and Safety
- Supervision
- Supporting Children's individual Health Needs

### Key Sources:

Behaviour basics, Teaching social skills in early childhood ; Department of Education, Training and Employment 1998 NSW OIAS website information, ncaac /policies/factsheets

UNICEF (n.d.). *Fact sheet: A summary of the rights under the Convention on the Rights of the Child*. Retrieved April 4, 2007, from

[http://www.unicef.org/crc/files/Rights\\_overview.pdf](http://www.unicef.org/crc/files/Rights_overview.pdf)

Porter 2006/www.semanslattery.com, behaviour guidance in-service

Maslow's Hierarchy Porter, 2003, p24) of Needs / Maslow, A.H. (1943). A theory of human motivation. *Psychological Review*, 50(4), 370–96. Retrieved from <http://psychclassics.yorku.ca/Maslow/motivation.htm>

"PSY 345 Lecture Notes - Ego Psychologists, Erik Erikson". Retrieved 2009-0811. <http://www.muskingum.edu/~psych/psycweb/history/erikson.htm>

This policy last reviewed in April 2014

Date for next Review: April 2015